

CYCLE

消費者運動ニュース No.1198 2024年 8月25日

発行所 **全大阪消費者団体連絡会**
 〒540-0026 大阪市中央区本町2丁目1番19-430
 TEL.06-6941-3745 FAX.06-6941-5699
<https://osakacon.org/>
 発行人 全大阪消費者団体連絡会
 印刷 株式会社 耕文社
 個人購読料 年間5,000円(送料込み・消費税別)
 購読料送金先 (口座名・全大阪消費者団体連絡会)
 郵便振替口座 00900-9-8320
 三井住友銀行天満橋支店 普通預金口座 0969062
 近畿労働金庫大阪中央支店 普通預金口座 1161622

気候危機!! 対策強化求め、声をあげよう!

暑さが止まらない。

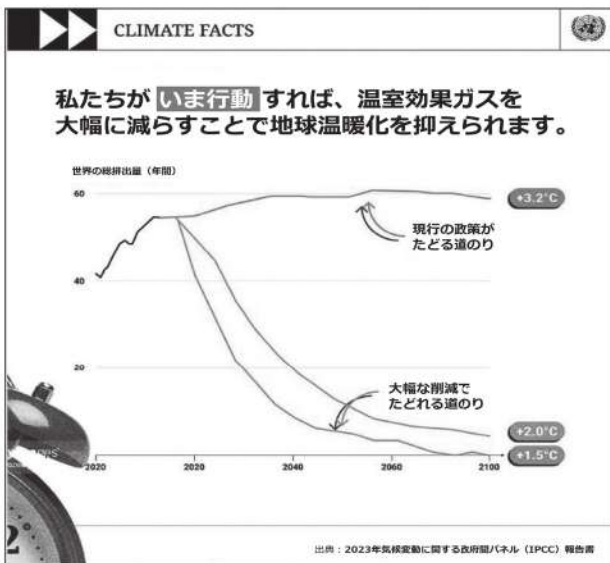
2023年は観測史上最も暑く、世界平均気温が産業革命前より1.45℃高かった(世界気象機関)。

今年1月～6月の平均気温はすべての月で昨年を上回り、7月22日には過去最高気温(17.15℃)を記録した(EUの気象情報機関「コペルニクス気候変動サービス」)。

日本の7月の平均気温は観測史上最高で、1991～2020年の30年平均値より2.16℃高かった(気象庁)。

気候変動により、大阪での熱帯夜が35.8日増えているとの研究結果も公表された(米気候研究機関「クライメート・セントラル」)。

今の地球温暖化が人間活動の結果であることは、科学が確認している事実である。これは人間の行動が変われば、気候危機を抑えることができることを意味している。しかし、残された時間はわずかである。今すぐ行動する必要がある。



(国連広報センター「気候変動についての「思い込み」を検証する」より)

エネルギー意見箱に消費者の声を

日本の温室効果ガス排出の85%を占めるエネルギー分野の基本計画の改定審議にあたり、資源エネルギー庁が「意見箱」を設置している。

関西消費者団体連絡懇談会(大阪消団連は代表世話人)では、一人ひとりが自分の考えを「意見箱」に提出するための素材を提供する学習会を、以下の通り開催する。

温室効果ガスの大幅削減と再エネの主力化を進め、持続可能でない原発には依存しない政策への転換を求める声を届け、エネルギー政策を転換させよう。

9月24日(火)14:00～16:00
 「あなたの声をエネルギー意見箱に!」
 大阪産業創造館&Zoom

参加
無料

〈会場での基調講演〉
朴勝俊 関西学院大学教授
 “グリーントランジション2035”で行こう!

〈意見サンプル提案〉
 〈参加者意見作成タイム〉

* 参加申込
フォーム



* 詳細案内
(pdf)



主な内容

- 気候危機対策強化を求め、声をあげよう ……1
- CASA学習会「温暖化の農業影響と対策」 ……2～3
- 学習会「有機農業とアグロエコロジー」 ……4～5
- 消費税関西連学習会「医療保険」 ……6～7
- 第3期大阪府消費者基本計画答申案 ……8～10
- 9月学習会のお知らせ ……11
- ニュースピックアップ ……12